

水をつかんで勝利を目指す

今井健さん (17歳)

ボートとの出会い

ボートとの出会い
今井さんは高校生になってからボートを始めました。

中学校までは野球に打ち込んでいましたが、高校生になったら新しいスポーツに挑戦したり、個人競技で自分自身を追い込み、実力を試してみたいと思っていた今井さんは、先輩の誘いでボート部に入部しました。現在は部員30人を引っ張る主将として、チームをまとめています。

日々の練習が結果に

日々の練習が結果に
今井さんは、入部してからずっと週6日間、愛知池での水上練習、学校でのエルゴメーター(ボートの練習器具)や筋力トレーニングを続けています。さらに練習のない月曜日にも学校でエルゴメーターを使った自主トレーニングを行うなど、まさにボート漬けの毎日を送っています。しかし、試合では、勝てないことが多く、悔しさをかみしめることが多かったそうです。

「昨年のインターハイ予選でクオドルブル(※)に出場したときに、決勝で旭丘高等学校に敗れ2位。インター



ハイに出場できなかったことが、これまでのボート人生で一番悔しかったです」と唇を噛む今井君。

しかし、シングルスカル(※)1本に絞って1年間努力した結果、昨年の雪辱を果たし、今回、見事インターハイ出場を決めました。

声援を力に

声援を力に
「高校生最後の大会となるインターハイでは、これまで指導してもらった先生方や一緒に頑張ってきたチームメイトに結果で恩返しをしたい」と今井君は力強く話します。

レース中、観客の声援は聞こえるのが尋ねると、「聞こえます。声援が聞こえると頑張ろうって思いますから。声援が力になるって本当ですよ」と答えてくれました。

今井君を始めとする高校生の熱い戦いに声援を送るためにぜひ、会場へ足を運んでください。きっと、たくさん感動が待っています。

(※)はホームページをご覧ください。



インターハイに向け練習に励む今井さん

7月30日から8月2日まで愛知池漕艇場東郷コースでインターハイ(全国高等学校総合体育大会)ボート競技大会が開催されます。今回は、愛知県代表としてこの大会にシングルスカルで出場する東郷高校3年生の今井健さんに大会への意気込みを聞いてきました。

No. 426 育てています!

みうちちゃん、出来ることが増えてお話も上手になって毎日が楽しいよ!

もうすぐお姉ちゃんになるけど、これからもたくさん甘えて元気いっぱい大きくなってね!



みうちちゃん (2歳)

小長井 淳史さん・友美さんの長女 (兵庫)